

兵庫県立はりま姫路総合医療センター

Harima-Himeji General Physician with Advanced Specialty Skills Program (Himeji-GPASS) について

1 背景

兵庫県においても、地域医療やへき地医療を支える医師の高齢化と偏在化が進行し、地方における医療提供体制の維持が困難となりつつある。地域医療の現場では、総合的な診療能力に加え、一定水準以上の専門医療の能力も強く求められるため、幅広い診療能力と専門性を兼ね備えた医師（専門性を有する総合医）のニーズが高まっている。

また、救急医療においては、救急医不足により初期対応に支障をきたすケースや、傷病者の受け入れ困難、対応可能な施設への長距離搬送など、地域住民の安心・安全に直結する深刻な問題が生じている。救急医の確保だけでなく、救急医としての幅広い診療能力に加えて、高度な専門的急性期対応力を兼ね備えた医師（専門性を有する救急医）の育成が求められている。

一方で、医師自身のキャリアにおいて、「地域に根ざした医療を提供したい」もしくは「救急や集中治療の現場で活躍したい」といった思いを抱きながら、「特定の専門領域でしっかりとしたスキルも身につけたい」と考える若手医師が一定数存在している。しかし、現状では、専門性の研鑽と総合診療力の育成を両立できる環境が十分に整っているとはいいがたい。

そこで、兵庫県立はりま姫路総合医療センターでは、専門的で高度なスキルを習得しつつ、地域や救命救急センターで実践経験を積むことにより、「総合力 × 専門性」を身につけ、地域医療や救急医療に貢献できる医師を育成するキャリアパスを整備する。

2 プログラム概要

- ・兵庫県立はりま姫路総合医療センターは、「総合力 × 専門性」を備えた、地域医療・救急医療を担う医師の育成を目的に、本プログラムを設置する。
- ・対象者は、総合医・救急医として一定程度の能力を有する医師（総合診療科、救急科、内科、外科、小児科などの基本領域専門医資格取得者及び取得見込者）とする。
- ・基本領域の専門医取得後、地域医療（へき地支援）もしくは救急医療・集中治療を実践しながら、専門スキルも深化できる研修環境を構築する。
- ・当院の人材確保・キャリアパス多様化の一環として、持続可能な医師育成システムを作る。

3 プログラム名称

Harima-Himeji General Physician with Advanced Specialty Skills Program

略称：Himeji-GPASS（ヒメジ・ジーパス）

「地域で活躍する医師を育てるパス（道）」「総合医・救急医が感じるキャリアの壁をパスする（乗り越える）」という意味を込めている。

4 プログラム詳細

区分	内容
対象者	- 次の条件をすべて満たす方 - 医師免許取得後 6 年目以上の医師 - 日本専門医機構が認定する基本領域（総合診療科、救急科、内科、外科、小児科など）の専門医資格取得者またはプログラム開始年度中に取得見込の者（専門研修プログラム修了見込者、専門医試験受験予定者等） - 地方公務員法第 16 条に規定する欠格条項のいずれにも該当しない方 - 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者 - 兵庫県において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者 - 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者 - 平成 11 年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けていない者（心神耗弱を原因とするもの以外）
身分	会計年度任用職員(フェロー)または常勤医師 ※専門医取得状況、当該診療科長の推薦、院長・副院長との面談などにより決定
研修期間	0.5～5 年間 ※希望する専門領域と基本的診療能力を踏まえ、総合内科診療科長または救命救急センター長との面談により決定
研修目標	「総合力 × 専門性」を備えた、地域医療・救急医療を担う診療能力の修得
研修内容	- 総合内科または救急科に所属し、希望する専門診療科に院内出向して研修する。専門診療科の指導医のもと、専門診療科の医師として責任ある診療を行いながら、専門的な知識・技術を習得する。 ※出向先の診療科及び期間は、本人希望を踏まえ、受入診療科の体制を勘案し、総合内科診療科長または救命救急センター長が調整。 - 地域医療の実践力や救急・集中治療力の強化を目的として、週 1 回は以下のいずれかを行う。

	①兵庫県内のへき地医療機関での診療 ②当院の救命救急センターでの診療 ※勤務先や勤務形態(曜日・時間など)は、本人希望を踏まえ、受入側の体制を勘案し、総合内科診療科長または救命救急センター長が調整。 ※へき地医療機関は、兵庫県内の医師確保重点推進圏域に所在する医療機関とする。 ※へき地医療機関における勤務条件は、当院と当該医療機関が協議の上、決定する。
研修施設	兵庫県立はりま姫路総合医療センター及び兵庫県内のへき地医療機関
研修修了後の進路	・当院総合内科または救急科で継続勤務（実績による） ・専門性と総合診療能力を発揮できる地域医療機関で勤務 ・大学と連携し、さらに高い専門性の獲得を目指す
募集定員	2 名
プログラム採用者決定の流れ	・病院見学、総合内科診療科長または救命救急センター長との面談 ・履歴書等、採用関係書類の提出 ・院長、副院長との面接・面談

<別表：キャリアアップイメージ>

免許取得後	研修内容
1 年目	臨床研修
2 年目	
3 年目	専門研修 （総合診療科、救急科、内科、外科、小児科などの基本領域）
4 年目	
5 年目	
6～10 年目	Himeji-GPASS （ <u>総合力×専門性</u> を身に着ける）
修了後～	地域医療や救急医療の現場で活躍

5 プログラムにより期待される効果

- ・地域医療の中核を担う医師の計画的な育成
- ・へき地医療支援体制の強化と継続
- ・地域の救急診療体制の強化
- ・医師にとって魅力的な「キャリア形成の中継地点」の構築
- ・病院全体の教育力・発信力の向上とブランド化

6 お問い合わせ先

兵庫県立はりま姫路総合医療センター

総務部診療サポート課

メール：rinken_harihime@hgmc.hyogo.jp